



浜っ子

発行 カトリック浜寺教会
高石市羽衣 2-2-27
TEL 072-261-1563
FAX 072-261-1594

2021年6月号 (2021.5.30 発行)

緊急事態宣言が再延長され、 すべてのミサが中止となっております。 (4月25日～6月20日)

5月30日現在

新規感染者の数は、若干減ってはいるものの、感染力の強い新しい変異型ウィルスも懸念され、何より医療現場のひっ迫が続いている現状では、やむを得ないことなのでしょう。皆様とお会いできる日が、ミサの中止と共に延期されたことは、非常に残念な思いです。長きにわたる自粛生活で、お疲れは出てはいませんか？電話などで、誰かとお話できていますか？ワクチン接種も進みつつあります。今しばらく、我慢の生活をいたしましょう。

おひとりおひとりが、引き続き、自身と周囲の人々の身を守る行動で過ごしてまいりましょう。コロナで亡くなられた方の安息を神様にお祈りします。そして、一日も早く終息しますように。医療従事者の方々への感謝と、生活困難者への救いも、心を合わせてお祈りください。

いずみブロックでは、**You Tube**にて、**カトリック岸和田教会の10時30分の主日のミサ**が、生配信されています。「カトリック岸和田教会」で検索してください。時間をおいても、ご覧になれます。ご自宅で、霊的聖体拝領としてご参加・お祈りくださいませ。スタッフのご努力により、字幕が付くようになりました。感謝いたします。

ミサが再開されましたら、これまで同様の注意事項をお守りくださって、ご参加くださいませ。

| 6月の主日のミサ担当一覧 | 浜寺 8:30・10:30 | 和泉 9:00・10:30 | 岸和田 9:00・10:30 |
|-------------------|-----------------|-----------------|---------------------|
| 6日 キリストの聖体 | | | You Tube |
| 13日 年間第11主日 | You Tube | | |
| 20日 年間第12主日 | | You Tube | |
| 27日 年間第13主日 | ベスコ | 村田(評議会) | ザベリオ会 15時 村田(英語) |

『どん底に大地あり』

聖パウロ修道会大阪修道院 阿部真理



『どん底に大地あり』。皆さん、この言葉を覚えておられるでしょうか？

昨年春から秋に、NHK朝の連続ドラマ『エール』の「主人公」、福島出身の名作曲家、古関裕而の生涯のドラマが放映されました。そのドラマの主人公である古山雄一（古関裕而）が、『長崎の鐘』を作曲するにあたって、長崎の如己堂で「永井隆」に出会い、病床に伏す彼から頂いた言葉です。

古山が、永井隆に頂いたこの言葉『どん底に大地あり』は、私の心に今でもしっかりと残っています。まさに、今の時代に必要な言葉ではないかと思っただけです。

ここ何年も、NHKの朝ドラを見ることは無かったのですが、私の出身の福島市に生まれた、古関裕而の生涯のドラマ化が決定した時から心待ちにしていました。感動と涙と感謝、いろいろな思いで見ることが出来ました。改めて、古関裕而を誇りに思いました。

また、偶然にも、昨年12月末に、サンパウロから『平和の使徒 永井隆のこぼれ』という本が、発行されました。私の中の永井隆への思いが冷めないうちにこの本が出来るとは…。何か、運命を感じました。

私は、永井隆のこの言葉が、今の時代には必要だと感じています。今、世界中が新型コロナウイルス感染症に苦しめられ、人類は、まれにない困難に陥っています。その困難の中で、私たちの信仰が、生き方が、全てが試されているように思います。今まで当たり前であったものが、感謝しなければならぬ大切なものであったこと。衣食住、全ては、自分ではなく、神さまからの恵みであり、自分で得た物ではなく、周りの人々の働きの上にあったこと。などなど。

今回の苦しみは、私たち人類が自ら生み出したものとも言えるでしょう。永井隆が病床にありながらも、畳2畳の如己堂で、平和を叫びながら神に祈りを捧げたこと。自分の喜び、自分の平和ではなく、一人一人が神さまによって作られたものであり、大切な命であること。長崎で被爆し、人間のどん底を味わった永井隆の心の叫び、『どん底に大地あり』。

私たちは、今回の苦しみを通して、何が神さまのみ旨かを改めて問い直さなければなりません。自分の喜びだけではなく、互いを思いやる心、本当の平和を愛する心を問われているのだと思います。うわべだけの平和ではなく、神の国の平和を。

「どん底に大地あり。どん底まで落ちて、

そこから立ち上がることが出来たのは、

この希望をしっかりと持っていたからである」

『花咲く丘』より

「丸裸より強いものはない。

どん底より安心なところはない。

昇る方向だけあって、降りることは出来ないからである」

『いとし子よ』より



(長崎・如己堂) ↑



「^{まず}貧しさの^{きわ}極まった、^{ぞこ}どん底の^く暮らしの^{なか}中に、

も^{きよ}っともすばらしい清らかさがあります。」

『^{によ}如己堂^{どう}随筆^{いひつ}』より

さいご最後に、いつくしみ^{ふか}深い^{しゆ}主イエスに^{いの}祈ります。

この^{かんせんしやう}感染症によって^な亡くなられた^{ひと}すべての^{ひと}人々、^{とく}特に、^{あい}愛する^{ひと}人に

^{みと}看取られずに^な亡くなられた^{かたがた}方々が、^{みもと}あなたの^{えいえん}御許で^{あんそく}永遠の^{あずか}安息に^{あずか}与ることが
できますように。

また、^{いま}今、^{やまい}病の^{くる}苦しみの^{なか}中にある^{ひと}人には、^{いや}癒しの^{めぐ}恵みを、^{ささ}そしてそれを^{いりやうじゆうじしゃ}支える^{いりやうじゆうじしゃ}医療従事者には、
^{ちから}力と^{なぐさ}慰め、^{はげ}励ましを^{あた}与えてくださいますように。

<<霊的聖体拝領の祈り>>

主イエス・キリスト、あなたがご聖体の秘跡のうちに、まことにおいでになることを信じ、
すべてに超えてあなたを愛し、わたしの心に迎えたいと望みます。

今、秘跡によるご聖体を、受けることができない私たちの心においでください。

あなたが、今、私の心にまことにおいでになったことを信じて、感謝いたします。

いつもあなたと一致したいと望む私が、あなたから離れることのないようにしてください。
アーメン。

<<新型コロナウイルス感染症に苦しむ世界のための祈り>>

いつくしみ深い神よ、

新型コロナウイルスの感染拡大によって、今、大きな困難の中にある世界を顧みてください。

病に苦しむ人に必要な医療が施され、感染の終息に向けて取り組むすべての人、医療従事者、
病者に寄り添う人の健康が守られますように。

亡くなった人が永遠のみ国に迎え入れられ、尽きることのない安らぎに満たされますように。

不安と混乱に直面しているすべての人に、支援の手が差し伸べられますように。

希望の源である神よ、

わたしたちが感染拡大を防ぐための犠牲を惜しまず、世界のすべての人と助け合って、
この危機を乗り越えることができるようお導きください。

私たちの主イエス・キリストによって。アーメン。

希望と慰めのよりどころである聖マリア、苦難のうちにあるわたしたちのためにお祈りください。

<<2021年度 浜寺教会評議会三役選挙中です>>

ミサが中止となり、投票も、一旦延期といたします。

ミサ再開後、2週にわたっての日曜が、投票日となります。ぜひ投票ください！！

※ 6/20(必着)まで、ご自宅からの不在者投票(郵送)にも対応致します。
ご希望の方はご連絡ください。

<<Face book へ 嬉しいメッセージが届きました ♡>>

興○由○子様より

オンラインミサの教会が増えてますね。

私ごとで申し訳ありませんが、私は大阪府堺市浜寺南町に住んでいた頃があります。

カトリック教会へは小2の時に友達に誘われて、ミサ典礼と日曜学校で、聖劇の練習で主の御使いのガブリエル様役で、セリフの練習をした思い出があります。

その時は、父親の反対があつて、1度きりで行く事が出来なくなって落胆してしまいました。

しかし、その3日後にわざわざ私が住んでいる社宅に(名前はもう40年以上昔なので、覚えておりませんが)、その方が霊名がマリアだといわれたご婦人の方が1人、神父様におことづけを頼まれたからと、わざわざ聖書を1冊届けにいらっしゃいました。

その方が、「この聖書で神様のことをよく学んで下さいね。聖母マリア様の取りなしに信頼して…今はムリでも、いつか信徒になりたいというあなたの希望が叶うとの望みを忘れないでいて下さいね。

私もマリア様を通じて、神様にお祈りしますね。」と仰って下さいました。

その言葉に励まされて、聖母マリア様の取りなしに信頼して、神様の救いへの希望を失わず、待ち続けました。

そして、30歳のご復活の主日に、横浜教区第3地区のカトリック磯子教会にて、当時3歳になったばかりの長女と共に受洗の(私は同日に堅信も…)お恵みも頂きました。また、翌年のご復活には、次女も赤ちゃんでしたが、受洗のお恵みを頂きました。

どうしてもその時の事を、この場を借りてお礼申し上げたくて、コメント欄に書かせて頂きました。「本当にありがとうございました。」

浜寺教会の皆様の上に、いつも主の豊かな恵みと祝福がありますように…

興○様は、現在、カトリック磯子教会所属。聖歌隊の一員として活躍されいるご様子です。お二人の娘様も受洗され、お母様としても頑張っているらしいです。

当時の神父様と、聖書を届けられたマリアさんの優しさで灯った小さな心の灯を、今までの長い時間、消すことなく、大事に守り育てられたのですね。感動！！

浜っ子やリーフレットを配布しながら、皆様に少しでも喜んでいただけたらと思いました。

なかなか教会に来れない方々にも、「繋がっていますよ ♡ 」と、伝わっていれば幸いです。

